株式会社ヤマシナ

ニュースリリース

下穴の無い薄鋼板に直接ねじ込むセルフドリリングねじ「シンカ SD」を新発売

弊社は、タッピンねじ「シンカ®」のシリーズとして、下穴の無い薄鋼板に直接ねじ込みができるセルフドリリングねじ「シンカ SD」を新発売します。

シンカは、0.3t 程度のバーリング加工の無い薄鋼板でも強い締結ができるタッピンねじです。バーリング加工(注 1)が不要となることで相手材の加工費や保管費用が削減でき、ものづくりの総コスト低減に貢献すると、発売以来、産業機器メーカー様などから大変ご好評をいただいております。

新発売のシンカ SD は、シンカの特徴である高い破断トルク(注 2)に加え、下穴が無い薄鋼板に直接ねじ込みができるセルフドリリングタイプのねじであり、シンカシリーズとして新発売いたします。

セルフドリリングタイプのねじは建築市場や設備備品市場で一般的に使用されますが、締め付けすぎによるねじの空転が発生することがありました。この場合、締結そのものが成立せず、なおかつ、部材そのものを廃却する必要も発生します。

シンカ SD は高い破断トルクの特性により、この空転を防ぐことができます。

弊社の主力市場である自動車や弱電市場のほかに、建築や設備備品市場への新たな展開が期待されます。

■首下四条と、とがり先ドリル形状を組み合わせたねじ形状

首下四条のねじ形状を持つことで、ねじが締結物に対し、安定して固定されます。このことで、薄鋼板の空転リスクの少ない締結が可能となります。また、ねじ先端が鋭角でとがっています。このことで下穴の無い薄鋼板に効率よくドリル穴を形成します。その他、四条ねじの特性からねじ穴を切り込み始めてから短時間でねじ込みが終了します。これらによりものづくりの生産性の向上を提供します。

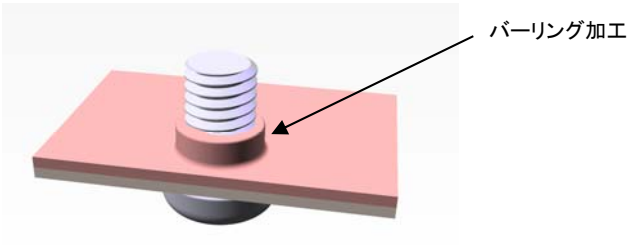
■今後の予定

M4 サイズから市場導入し、順次サイズの範囲を増やして参ります。

以上

【本件に対する問い合わせ先】
株式会社ヤマシナ
マーケティング本部　技術開発課
京都市山科区東野狐藪町 16 番地
電話 075-591-3230　担当　古川、川畑

（注 1）バーリング加工　薄板を使用する場合、おねじと勘合する長さを確保するために行う加工。



（注 2）破断トルク　ねじを相手材等に接触させねじ込んだ際、ねじもしくは相手材が壊れるトルク。シンカは、破断トルクが高く、従来品であれば、空転するトルクで締め付けても空転を抑制します。

■新発売「シンカ SD」



■0.3mm の鋼板を 2 枚締結した様子

